# 身体拘束を行わないケアの実践について宣言

私たち【ナースの家すすき野】訪問看護ステーションは、すべてのご利用者さまの「その人らしさ」を尊重し、尊厳ある生活の実現を支えるために、身体拘束を行わない看護ケアの提供を基本方針として掲げています。

身体拘束は、たとえ安全確保を目的とする場合であっても、ご利用者さまの身体的・精神的苦痛を伴い、尊厳や自由を損なう重大な行為であると認識しています。当ステーションでは以下の方針のもと、身体拘束ゼロへの取り組みを推進しています。

【身体拘束ゼロのための取り組み】

* ご利用者さま・ご家族との信頼関係の構築に努め、納得と安心を得られるケアの提供
* 転倒・事故防止における環境調整や工夫、個別性を重視した支援
* 拘束を防ぐ代替手段の継続的検討と多職種連携の強化
* 職員への継続的な研修・倫理教育の実施
* 「やむを得ない場合」における最終手段としても、身体拘束に頼らない支援方法の追求

ご利用者さまが、住み慣れたご自宅で、安心してその人らしく過ごせるよう、これからも「身体拘束ゼロ」を目指し、職員一同努めてまいります。

ナースの家すすき野訪問看護ステーション

管理者　早乙女真紀